

# モノづくり体感スタジアム2023

モノづくり日本会議は8月26、27日の両日、10~17時に東京都港区の東京都立産業貿易センター浜松町館で子ども向けイベント「モノづくり体感スタジアム2023」を開く。参加無料。10社・団体が3歳から中学生まで楽しめる12のワークショップを用意している。

昨年10月に続いた開催で、前回よりワークショップの数を増やした。主なワークショップとして、コマツが「鉄物(いもの)キー

ホルダーを作ろう！」を予定。溶けたホワイトメタルを型に流し込んで製作する。MOL DINO(東京都墨田区)の「超硬工具(ちようこうこうぐ)」のことを学びながら粘土でキーホルダーをつくろう！」は、粘土と絵具で超硬工具の工作を体験できる。

THKはSDGs(国連の持続可能な開発目標)の課題などを学習するためゴミ分別機

を作る。ホーチキは火災報知機の仕組みを知ってもらうため、ペーパークラフトで赤いボタンを工作する。日本航空電子工業はEV(電気自動車)カーの工作を通じ、コネクターの役割などを学ぶ。



## リアルで楽しむ工作・学習

来月26・27日  
都立産業  
貿易センター浜松町館

を作る。ホーチキは火災報知機の仕組みを知ってもらうため、ペーパークラフトで赤いボタンを工作する。日本航空電子工業はEV(電気自動車)カーの工作を通じ、コネクターの役割などを学ぶ。

イベントの参加希望者は同スタジアムのホームページでユーザー登録を行った後、参加したいワークショップに申し込む。

## モノづくり長寿企業に学ぶ「持続可能な経営モデルとは」in浜松

エンシュウ・ソニック石川・西島 経営トップが講演

静岡文化芸術大学 来月8日開催  
経営戦略論・社会起業論 特別シンポ

8月8日14時から浜松市  
中区の大南17-6講義室で特別シンポジウム「モノづくり長寿企業に学ぶ『持続可能な経営モデル』とは」in浜松を開く。同大の経営戦略論や社会起業論といった授業の一環で開催するもので、100年経営の会と日刊工業新聞社が協力する。

## ■モノづくり日本会議 主な行事

### 自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)開示でシンポ

モノづくり日本会議は産業環境管理協会、グリーンフォーラムと共に8月4日14時から「モノづくり推進シンポジウム『対応迫られるTNFD』」を開催する。オンライン配信と日刊工業新聞社(東京都中央区)でのリアル開催のハイブリッドで開く。参加無料。オンラインの定員は200人。

モノづくり日本会議は産業環境管理協会、グリーンフォーラムと共に8月4日14時から「モノづくり推進シンポジウム『対応迫られるTNFD』」を開催する。オンライン配信と日刊工業新聞社(東京都中央区)でのリアル開催のハイブリッドで開く。参加無料。オンラインの定員は200人。

関係は一段と深まりを見せており、半導体関連貿易は拡大し、台湾企業の注目度も高まっている。日本の連携を促進する。台湾企業団と来日した黄志芳書長に今後の連携強化について聞いた。



## 黄志芳 氏

台湾貿易センター(TAITRA)董事長

有力企業を紹介  
—EV関連に参入する企業も多いですね。

「台湾を代表する電子企業の多くが、EVにシフトし始めている。電子機器製造

## EV普及台日連携さらに強く



—EV関連に力を入れ、EV時代にはEVだけではなく、燃費車やプラグインハイブリッド車も重要な役割があるという点だ。

「EVは台湾にとって新しい機会をもたらす。從來、自動車産業に対する台湾は部品関係を中心に関わってきたが、EV時代では情報通信関連やソフト関係産業に台湾は強みがあり、時々さまざまな電気システム関連のサプライヤーを探

—日本企業と接して手応えは、「OTA(オーバー・ジ・エア)技術をはじめ関心を持ってもらつた。長期的なパートナー関係を築いていく。各国を訪ねての感想を言うと、米国とドイツではEVに関してもっとスピーディーにアップしたいという切迫感がある。

—日本と台湾は、どのように連携を探るべきでしょうか。

—半導体では熊本に台湾TSMCが工場を建設す

—日本は半導体産業において台湾の先輩であり、ソ

—EVによる酸化炭素削減は、電力の由

—EVを導入すれば解決

—EVを導入すれば解決